

港湾・都市基盤整備推進特別委員会

日時：令和4年3月15日（火）
午前10時
場所：第3委員会室

○ 議 題

- 1 令和3年度防災対策事業の実績について
- 2 その他

令和3年度 防災対策事業の実績について

1 総合防災訓練

八戸市地域防災計画に基づき、国、県、その他防災関係機関及び地域住民参加のもと、地震・津波災害発生時の応急対策、救援物資の集積・供給の防災拠点としての運用、避難行動及び施設設備の被害への対応を、迅速かつ円滑に実施できるように訓練するとともに、防災対策の強化、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行うとともに、訓練実施の前日から長根屋内スケート場で始まったワクチン集団接種に影響を及ぼすことがないように訓練実施エリア・訓練時間を工夫して実施した。

- (1) 実施日時 令和3年6月27日（日）午前8時～11時10分
- (2) 実施場所 根城地区（長根屋内スケート場、長根公園内駐車場、根城小学校、総合福祉会館）
- (3) 主催 八戸市、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部、八戸圏域水道企業団
- (4) 参加人員 60団体 975名
 - ①根城地区連合町内会、根城地区連合町内会自主防災会 等
 - ②根城小学校・江南小学校・根城中学校の一部
 - ③防災関係機関・団体（陸海空自衛隊、県防災航空隊、災害協定締結団体等）
- (5) 訓練項目
 - ①災害発生時初期対応訓練（情報伝達訓練等）
 - ②地震・津波避難対応訓練（長根屋内スケート場での避難訓練等）
 - ③地域自主防災訓練（根城小学校での避難所開設・運営訓練 等）
 - ④救援物資集積等訓練（トラック協会等による物資搬入・集積・搬出訓練）
 - ⑤地震・津波被災現地災害対応訓練（自衛隊等による道路啓開訓練等）
 - ⑥展示・体験訓練（災害協定締結団体・防災関係機関による展示等）

2 その他

- (1) 自衛隊との協定に基づく現地確認

八戸市内で大規模な地震・津波災害が発生し、又は大津波警報等が発表された際に、住民等の一時的な緊急避難場所を確保することにより、人的被害の軽減及び生活の安全確保を図ることを目的に、陸上自衛隊八戸駐屯地、海上自衛隊第2航空群と八戸市の3者で、

令和2年11月30日に締結した「大規模災害時における緊急避難場所等に関する協定書」に基づき、地域住民及び臨海部の工業地帯の事業所等の従業員を対象に、自衛隊敷地内の避難経路や一時避難場所等の現地確認を企画し、当該協定に関する説明会を、令和3年10月27日に津波防災センターで開催（参加者数：31名）したが、現地確認は新型コロナウイルスの感染防止対策の強化のため延期とした。

(2) Rethink PROJECT×防災教育プログラム in八戸市

一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワークと日本たばこ産業株式会社が、地域住民と一緒に住み慣れた場所を今までとは違った視点で俯瞰し、地域の防災のあり方を考えることで地域防災力を向上させることを目的に、令和3年12月16日（木）に津波防災センターで開催した。（八戸市は後援）

地域住民、自主防災組織や八戸学院大学学生の約30人が参加し、「段ボールジオラマ防災授業」「避難所設置・運営ワークショップ」を通じて、自分たちの住むところの地形や過去の災害の教訓、災害リスクを学び、自助・共助について再認識するきっかけとなった。

総合防災訓練



根城小学校での避難所開設・運営訓練



自衛隊による道路啓開訓練



救援物資集積等訓練

自衛隊との協定に関する説明会



Rethink PROJECT×防災教育プログラムin八戸市

